

ヤングケアラーに係る広報啓発について

1 要旨・目的

子供や子育て世代を社会全体で支える機運を醸成するため、こども家庭庁で定めている11月の「秋のこどもまんなか月間」にあわせ、ヤングケアラーに関する広報啓発を実施する。

2 現状・背景

ヤングケアラーは、本人や家族に自覚がないことや、家族のケアやそれに伴う家庭の事情は家庭内のデリケートな問題であることなどから表面化しづらく、必要な支援につながりにくい状態にある。そのため、本人や家族はもとより、広く県民がヤングケアラーに関して正しく理解し、適切な支援へと結び付けられるよう啓発活動を実施する必要がある。

3 概要

(1) 広報物を活用した取組

広報物	部数	ターゲット	配布先	資 料
ポスター	5,500枚	県内在住の児童・生徒等	・学校（中学校・高校）に優先配布 ・県関係機関や市町役所、公的機関、商業施設など	別添1
ステッカー	100,000枚	ヤングケアラー当事者を含めた一般県民	・ポスター配布先と同じ	別添2
リーフレット	30,000部	ヤングケアラー当事者及び支援者（市町職員、教員など）	・県関係機関や市町役所、公的機関、商業施設など	別添3
啓発マンガ	30,500部	県内在住の児童・生徒等	・学校（中学校・高校）に優先配布 ・県関係機関や市町役所、公的機関	別添4

広報物	ターゲット	広報・広告
啓発動画	・ヤングケアラー当事者を含めた一般県民	・広島県公式 YouTube チャンネル及び TikTok（予定） ・その他、県と包括連携協定を締結している企業等
WEB 広告	・ヤングケアラー当事者を含めた一般県民	・LINE 広告、Google デマンド広告及び YouTube 広告

(2) その他月間中に強化して行う取組

- ・広島リビング新聞社とのコラボレーションによる特集記事
- ・「徹底解剖！ひろしまラボ」（県ホームページ内コンテンツ）における特集記事
- ・広島県公式 SNS（X、Facebook）における月間中の定期的な情報発信

人生は 仕方なくない。

家事があつて部活に行けないのも

家族のお世話があつて

勉強する時間がないのも仕方ない。

家族の支えになりたいし、

これがうちの普通だから。

本当はそんな言葉で片付けたくない。

自分にだってもっとやりたいことがある。

飲み込まなくていいし、諦めなくていい。

自分のために生きていい。

僕らの人生は、僕らのためにある。

ヤングケアラー支援に
関する取り組みはこちら



知ってほしい、ヤングケアラーのこと

あなたと一緒に家族を
支える人がいます

